

ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。

美濃田の淵

●あわっ子文化大使リポーター
東みよし町立三好中学校 小松 礼奈



東みよし町にある美濃田の淵は、古くから詩文などの風流に親しむ人々の世界で「吉野川ここに至りてもっとも狭く墨絵の妙をきわむ」と言われ、そこに浮かぶ奇岩・怪石は、形の珍しさから「鯉釣岩」「ウナギ岩」などと名前が付けられています。

また、雄釜・雌釜はおう穴と呼ばれ、吉野川の洪水のたびにたたきつけられる小石や砂が、長い年月の間に掘った穴であり、この雄釜・雌釜は川底でつながっているという伝説が語り継がれています。

その昔、この地方を襲った大干ばつとき、農民たちは言い伝えに従い、雨乞いの儀式を行うことになりました。村の社にまつられている竜王神のご神体を雄釜に沈めると、願いどおり大雨は降りましたが、雌釜にご神体が浮かんでこ



美濃田の淵



全体図

ないため、海女を雇いました。不気味に静まる淵へもぐった海女が上がってきたとき、村人たちに「二度ともぐる所ではありません…」と言ったことが語り継がれています。

美濃田の淵は絶景で、春は桜、夏は緑、秋は紅葉がきれいなので、ぜひ足を運んでみてください。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
教育文化課 ☎088-621-3054 FAX088-621-3056

すだちスカッシュ

徳島の食で みんなを幸せに!

●作り方

- 冷やしたグラスに、はちみつまたはシロップと、カットしたすだちを絞り入れ、果汁で溶かすように混ぜる。
- グラスにミントの葉を入れやさしく漬す。
- 水と炭酸水を入れて下からすくうように混ぜ、すだち(分量外)を輪切りにして飾る。

●材料 (1人分)

- すだち 1個 ●ミントの葉 20枚程度
- はちみつまたはシロップ 大さじ1~2
- 炭酸水 200ml

●レシピ提供/もうかるブランド推進課

おでかけだより

●アスティおどりひろば
阿波おどりを見て、踊って、楽しく体験できます。踊り子さんとの写真撮影や、県内の観光地やイベントのご案内、特産品の販売もあります。県外からお越しの昼の部参加者限定で、阿波おどり衣装の着付け体験も実施!
【とき】8月12日~15日
朝の部11:00~12:00 昼の部14:00~15:00
【ところ】アスティとくしま 多目的ホール
【問】アスティとくしま
☎088-624-5111 FAX088-625-8469



●文化の森 サマーフェスティバル
文化の森の夏まつりです! クイズに答えながら文化の森を回るウォークラリーのほか、全6館それぞれが趣向を凝らしたイベントを開催します。
【とき】8月19日 9:30~16:00
【ところ】文化の森 全館
【問】県立二十一世紀館
☎088-668-1111 FAX088-668-7196

●擬態熊隊ダマすんジャー×あすたむスタンプラリー
園内に隠されたスタンプ台を見つけてスタンプを集めましょう。スタンプ3個で景品GET! 生き物展示や剥製展示、なりきり体験&かくれんぼコーナーなど、さまざまなイベントコーナーもあります。
【とき】開催中~9月2日 9:30~18:00 (9月1日・2日は17:00まで)
【ところ】あすたむらんど徳島 子ども科学館
【問】あすたむらんど徳島 ☎088-672-7111 FAX088-672-7113

まずは自分と家族の命をいかに守るか
明日起きてもお不思議ではない「南海トラフ巨大地震」をはじめ、徳島も危惧されています。日本各地で災害が多発する中、県民の新たな取組目標として提唱されています。FCP(家族継続計画)です。

これは企業が取り組んでいるBCP(事業継続計画)を家族に置き換えた造語で、いざというときに災害からの被害を最小限に抑え、自分や家族の命を守るための方法を決めておく計画のことです。高齢者や小さな子どもがいる、あるいは子どもと離れて暮らしているなど、家族構成や家庭の事情によっても話し合っておくべき内容は変わってきます。防災マニュアルから一歩踏み込み、自分たちに

必要に必要な防災計画を立てることが何よりも重要です。自分たちが暮らしている地域の環境も、家族の防災計画に大きく関わってきます。津波や浸水被害があるのか、近くに安全な避難場所はあるか、周囲の家は倒壊しにくいかなど、いくつもの要素が絡み合う中で、家族一人ひとりが取るべき行動を把握しておくなければ

なりません。東日本大震災では、近所の方を助けようとして亡くなる方が多くありました。つまり、自分や家族の命を責任を持って守ることは、周囲の方々のリスクを減らすことにもなるのです。言葉には、同じ組織や団体に属する人々の意味も含まれます。家族という小さな単位から徐々に防災意識を広げ、地域全体の防災力を高めていただければと思います。

とくしま防災フェスタ2018

●日時/10月21日(日) 10:00~15:00
●場所/徳島県立防災センター・フジグラン北島
●内容/子どもから大人まで幅広い年齢層の方が参加できるよう、様々な行事や展示を行います。
●主催/とくしま地震防災県民会議、徳島県

●お問い合わせ先 徳島県防災人材育成センター
所在地:板野郡北島町鯛浜字大西165
☎088-683-2100 FAX088-683-2002
この記事をより詳しくご覧になりたい方は、左のQRコードからアクセスしてください。

必ず来る災害に備え、継続的な家族防災会議を。
徳島大学名誉教授 村上仁士さん

まずは身の安全を確保する
揺れが取まってから火を消しましょう

わが家の住まいは大丈夫?

●家具の固定、ガラスの飛散防止対策は? L字型金具や突っ張り棒などで家具や家電を固定する、ガラスに飛散防止フィルムを貼るなどの対策が負傷のリスクを減らします。

●家の危険箇所を確認・改善していますか? 寝室に背の高い家具を置いていないか、安全に避難できるよう出入口や通路に物を置いていないかなどを事前に確認しましょう。

●住宅の耐震診断をしていますか? 自分や家族の命を守るためには、大地震から家の倒壊を防ぐ必要があります。まずは耐震診断で住まいの強度を調べてみてください。

●ブロック塀は大丈夫? 地震により発生するブロック塀の倒壊。右のQRコードから「ブロック塀の点検方法」の動画をチェックしてください。

地震発生!? その時、どうする?

●緊急地震速報を聞いたとき、どうする?
緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、わずか数秒から数十秒ほど。周りの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、慌てずに身の安全を確保する」ことが基本です。短い間に行動を起こすために、緊急地震速報の報知音を覚えましょう。

●台所で火を使っているとき、地震が起きたらどうする?
地震発生直後に無理に火を消しに行く、調理器具や油が飛んできて火傷をする危険性があります。慌てて外に飛び出すのも危険。まずは頭を保護しながら丈夫な机の下などの安全な場所に避難すること。揺れが取まってから、落ち着いて火を消しましょう。

備蓄はできている?

●必要最低限の持出品を準備していますか?
災害から命を守るためのもの(避難時に使うもの)、避難した後に必要なもの(避難生活に必要なもの)を具体的にイメージしながら準備すること。すぐに持ち運べる場所に置いておきましょう。

●生活用品や水・食料などの備蓄は?
子ども、高齢者、男性、女性、アレルギーのある方など、それぞれ必要なモノは違います。わが家に必要な備蓄について話し合いましょう。

●ローリングストックをしていますか?
普段飲食するものを少し多めに買い置き、賞味期限の早いものから使いながら、新しいものを買い足していく方法を繰り返す「ローリングストック」を各家庭で実践してください。

わが家の住まいは大丈夫?

●家具の固定、ガラスの飛散防止対策は?
L字型金具や突っ張り棒などで家具や家電を固定する、ガラスに飛散防止フィルムを貼るなどの対策が負傷のリスクを減らします。

●家の危険箇所を確認・改善していますか?
寝室に背の高い家具を置いていないか、安全に避難できるよう出入口や通路に物を置いていないかなどを事前に確認しましょう。

●住宅の耐震診断をしていますか?
自分や家族の命を守るためには、大地震から家の倒壊を防ぐ必要があります。まずは耐震診断で住まいの強度を調べてみてください。

●ブロック塀は大丈夫?
地震により発生するブロック塀の倒壊。右のQRコードから「ブロック塀の点検方法」の動画をチェックしてください。

話し合おう! 決めておこう! わが家の防災計画

県が推進しているFCP(家族継続計画)とは、いつ起こるか分からない災害から自分と家族の命を守るため「わが家の防災会議」によって災害発生時の対応方法を事前に決めておく計画のことです。ここで紹介する内容を参考に、家族構成や住んでいる地域の特性を踏まえながら防災や災害発生時の行動を再確認しておきましょう。

大雨・洪水 その時、どうする?

●風水害から身を守ろう!
台風や大雨などによる風水害は、ある程度までは時期や規模を予想できます。しかし急な大雨や強風、予想しないことが起きる可能性もあるため、危険が近づいてきたら常に情報を確認しましょう。

●注意報・警報・特別警報の違いは?
災害の恐れがある「注意報」、重大な災害の恐れがある「警報」、数十年に一度の重大な被害が予想される「特別警報」。テレビやラジオの気象情報での発表の意味を理解し行動することが重要です。

●避難情報について知っていますか?
避難に時間を要する人は避難を開始する「避難準備・高齢者等避難開始」、避難場所へ避難する「避難勧告」、さらに危険な状況を示す「避難指示(緊急)」など、避難情報の切迫度も覚えておきましょう。

避難のルールは決めている?

●自分の住んでいる地域の危険性を知っている?
土砂災害や津波など、住んでいる地域によって警戒すべき災害も変わってきます。まずは自分の住んでいる地域のハザードマップを確認し、津波や浸水の高さ、土砂災害などの危険性を知りましょう。

●避難所や安全な避難ルートを確認している?
自宅や学校、職場など、その時その場所から最も近い避難場所へ避難することが大切。いくつかの避難場所や避難所をチェックしておき、避難ルートが安全であるかも確認しておきましょう。

●家族との連絡方法や集合場所を決めている?
災害用伝言ダイヤルなど、家族との連絡方法を複数確保しておくこと。家族の集合場所(安全な場所)も決めておきましょう。